

# 石島会計メモ



平成 24 年 6 月

文責 石島 洋一

## 「三陸とれたて市場」から、取り立て情報

### 静岡から三陸に移った人生

先日、被災地を訪れた際、大船渡(岩手県)の「三陸とれたて市場」社長の八木健一郎さんとお話する機会がありました。八木さんは、最近いろいろなメディアに取り上げられ、大船渡復興のシンボリック的存在になっている人です。

八木さんは、静岡県出身の人ですが、当初はそれほど好きになれなかった大船渡で、漁業の近代化をすすめようと、いろいろチャレンジしていました。そんな時に被災しました。

### 震災とその直後

2011年3月11日…大船渡はすべてが無くなりました。知人、友人、多くの人が亡くなり、遺体の処理だけに明け暮れている状況でした。

それから4日目です。行方がわからず、心配していた友人の漁業者とばったり出会ったのです。うれしさのあまり、涙を出しながら抱き合いました。



ほとんど復興の進んでいない大船渡

「これからどうする？」八木さんが聞きました。八木さん自身の選択肢の中には、生まれ故郷の静岡に帰る道もありました。

そこで彼が「漁業はもうおしまいだ」と言えばすべての話は終わったところでした。友人は、「ここまで何も無くなったらさっぱりした。いちから一緒に良いものを作っていこうよ！！」背中がブルブル震えていました。

この一言で八木さんの退路も断られました。こうなれば進むしかない。

### 冷凍機が欲しい！！

復興への道のりは厳しかったのですが、八木さんの事業がどうにか元に戻り始めた頃でした。

八木さんがみんなに聞いてみたのです。

「何か欲しいものはないかな？」

「何を言っても良いですか？」

「買えるかどうかわからないけれど、言うだけは言ってみなよ。」

「島の冷蔵庫が欲しい…」

シマの冷蔵庫？八木さんは意味がわかりませんでした。聞いてみると、島根県の隠岐の島で地域振興のために CAS と呼ばれる冷凍システムを導入しているというのです。それがテレビで紹介され、非常に良いので、自分の所にも欲しいとのこと。CAS とは魚などの細胞組織を壊すことなく、冷凍できる画期的システムのことです。



八木健一郎氏

「高いのだろうか…」と思いながら、ホームページを探ってみます。価格は出ていないのです。でも、メーカーはわかったので、問い合わせのメールを出してみました。直後にフェラーリが3台ぐらい買える機械であることがわかりました。1億円出しても、おつりは少ししか来ないのです。とても手の届く金額ではありません。

それから数日後。千葉県にある CAS メーカーの社長が会いたいという連絡が入りました。それで千葉まで行って見たのです。

会うなりその社長は、CAS の話をするわけではなく、震災のことをいろいろ聞き出してきました。そして、涙を流しながら、話を聞いてくれたのです。

ある程度の話をしたところで社長が席をたちました。そして、紙切れを1枚持ってきたのです。

「これに現場の見取り図と CAS を置きたい場所を記入してよ」

### 後日談にも暖かさが…

八木さんは何が起きたのか、わかりませんでした。なんと1億円近い CAS を使わせてくれるというサインでした。八木さんの熱意が相手の社長の心を動かしたのでしょう。今、お世辞にも立派とは言えない三陸とれたて市場の作業所には、フェラーリ3台分の価値のある冷凍機が大活躍しています。

退路をたたれ、懸命に活動した結果が、CAS を活用出来る状況も作り出してしまったのです。そのメーカーの社長の度量にもびっくりします。

後日判明したことですが、その CAS は北海道の業者に納品すべく、すでに北海道まで運ばれている途中でした。その CAS メーカー社長は、北海道のお客様に事情を話し、大船渡に送りたいと話したそうです。そのお客様も、一刻も早く欲しい CAS であったが、気持ちよく、しかも即座に了解したそうです。

CAS という最新鋭の冷凍システムが生み出した暖かい話でありました。

八木さんが印象深い言葉を残しました。

「震災があろうが無かろうが、あのままでは漁業は駄目になっていました。改革が必要だったのです。震災はそのことを後押ししてくれました」

八木さんのきらりと光る目を見ながら、私はその場が被災地であることを忘れてしまいそうな感じとなりました。

# 街紹介

ナビゲーター：加藤美智子

石島公認会計士事務所は、JR神田駅、JR新日本橋駅、東京メトロ銀座線・半蔵門線の三越前駅を利用できる所にあります。

今回は、一番近い三越前駅の近辺をご紹介します。

## ～化石の街～

三越前駅は、文字通り、日本橋三越の直下にあります。

歴史が古く昭和7年に開業、三越が建設資金を全額負担しているだけあって構内にも化石の入った立派な大理石が使われています。同様に、地下通路も三越の意向が大きく反映されたデザインになっています。

駅ホームには、珊瑚の化石の入った石でできた壁があったり、地下コンコース支柱壁にアンモナイトの化石が入っていたり、『街化石探偵隊』が一日中楽しむ一大化石スポットになっているそうです。



↑ (右) 教科書でよく見たアレです  
← (左) 珊瑚の化石入り  
いずれも本物ですよ！

## ～古き新しき街～

老舗も数多く、皆様ご存じの『三越』『山本海苔店』『佃煮日本橋鮎佐』『千疋屋総本店』などが軒をつらねています。

お江戸日本橋の誇る100年以上続く「伝統老舗」と、これから100年以上続いてほしい「未来老舗」、新旧のお店を歩いてめぐる【日本橋老舗リレーツアー】(半日)なるものがあります。

江戸の架け橋！日本橋めぐりの会 090-8803-1144 (平日 10:00～17:00)

(裏面へ続く)

(表面より続き)

そうかと思えば、『YUITO』『コレド室町』など近代的な建物も建っており  
今と昔が混在する街です。



(左) 伝統老舗もあれば、 (右) 新しい大型商業ビルも

また、重厚な建物が多く、三井本館は新古典主義様式の外観をもつ建物で、  
イタリア・ベネツィア産の大理石が使用されており国の重要文化財に指定され  
ています。

三越日本橋本店は、ルネッサンス式建物で「東京都選定歴史的建造物」に選  
定されています。

日本銀行の本店本館は建築家辰野金吾の設計で、明治時代の近代洋風建築を  
代表する作品で国の重要文化財に指定されています。

また、これは上空から見ると『円』に見えることで有名です。



(左) 三越日本橋本店 (中・右) 日本銀行本店本館。これを上から見ると…

日本銀行の本店見学ができます。平日のみで事前予約が必要ですが、是非一  
度見学してみたいはいかがでしょうか？

お申込・ご照会は、日本銀行情報サービス局（見学受付あて）  
03-3277-2815（直通） 毎週月～金 9:30～17:00（祝日・年末年始除く）

事務所に来所されたついでに、三越前駅周辺を散策してみてください。

三越前散策のついでに事務所に寄っていただいてもOKです。

皆様のお越しを、所員一同お待ちしております。